



いまべつ

議会だより

No.218

12月定例会



今別こども園による「クリスマスお遊戯会」

【第487回議会臨時会】	
令和5年10月31日の1日間	
議案	2
【第488回議会定例会】	
令和5年11月30日から12月4日までの5日間	
町政を問う	2
議案	8
【第489回議会臨時会】	
令和5年12月15日の1日間	
議案	8
【合同視察研修報告】	
・地域おこし活動	9
【議会の動き】	
令和5年10月～12月の議会の動き	10
【編集後記】	
議会広報委員会：福士和比古	10

令和5年 第487回臨時会 審議結果 10月31日

提案された報告3件、議案2件は、承認、可決されました。

- ◆報告第1号 専決第13号 令和5年度今別町一般会計補正予算(第6号) 【承認】
- ◆報告第2号 専決第14号 令和5年度今別町国民健康保険特別会計(診療施設勘定)補正予算(第3号) 【承認】
- ◆報告第3号 専決第15号 令和5年度今別地区簡易水道事業特別会計補正予算(第3号) 【承認】

◆議案第1号 令和5年度今別町一般会計補正予算(第7号) 【可決】

◆議案第2号 令和5年度今別地区簡易水道事業特別会計補正予算(第4号) 【可決】

質問等

Q. 福士和比古議員

青森県の物価高騰景気対策交付金の査定はどのように決まっていますか。
A. 総務企画課長 人口割りとなっています。

Q. 本間闘士議員

青森県子ども子育て世帯応援金240万円は、現金給付の形を取りますか。
A. 町民福祉課長 児童手当を受給している世帯を対象に3万円を12月18日に口座振り込みで支給いたします。

Q. 本間闘士議員

飼料価格高騰対策助成金、こちら農業、畜産の

対策として計上されていますが、これ以外の業種に対して高騰対策は現時点での考えはあるのでしょうか。
A. 産業建設課長 今回の助成金の対象者に関しては、農業者・漁業者と林業関係者、畜産業者に限定しているものになりますので、それ以外に関しては現在検討しておりません。

Q. 本間闘士議員

非課税世帯に国の方で助成金、補助金があり、子育て世帯に3万円給付とありますが町からは、それ以外の世帯には何かしらの高騰対策はないのでしょうか。
A. 町長 検討しているのは、福祉灯油を準備しています。それと一般町民を対象にプレミアム商品券。あと1月、2月、3月分の各家庭の水道料免除を全世帯に行き渡らせませす。

令和5年 第488回 今別町議会定例会

町政を問う

一般質問

12月定例会では、3名の議員が登壇し、直面する町の重要課題について、町執行部の考えを問いました。その主な内容をお知らせします。



小倉 潤二 議員

1. 災害に対する取組について

①災害時に対する自主防災組織体系は機能したのか。

【回答】総務企画課長

当町における自主防災組織は2団体12地区で組

織され、防災活動に現在務めているところです。昨年8月の大雨災害では、組織隊員であります地区総代、町内会長等へ避難所開設の連絡を入れ、町職員を配置するといった体制を整え、地域住民の避難に対応したところで

今後、地域の実情に応じた自発的な防災活動の推進や自主防災組織の必要性の認識を高めるため、訓練や研修会等を通じた育成・強化等に努めていきます。

再質問 小倉潤二議員

昨年災害に対して避難所開設にあたり行政側の指示には、大きな問題点があったと思います。

一つ目は、曇月地区、大泊地区、この地区は会館に避難所を設けたのですが、この避難所は裏が崖になっており、大雨に對しては非常に危険です。

二つ目は浜名会館です。この浜名会館は川沿いにあるため、増水した場合二次災害のおそれもあります。各地区の総代にも確認したところ、役場からの指示でこの会館を避難所に指定したという理由でした。こういった理由でこの場所を指定したのでしょうか。その経緯をお知らせください。

【回答】 **【総務企画課長】**

一つ目の大泊地区に関しては、確かに会館裏は土砂災害特別警戒区域になっていますが、役場にいろいろな情報収集した中で、海岸方面は地方気象台からの情報ですと、その地域は災害区域になっていなかったため、

すぐ避難という情報ではなかったもので、会館という判断をしました。また、会館内の場所ですけれども、避難した場所も崖に近いと場所ではなく、なるべく離れたところにいるようにしました。

曇月地区に関しては、確かに会館開設したと思うのですが、その後、海峡の家のほうに避難しております。こちらは大泊と違って土砂警戒区域、さらにはその傾斜から会館までかなり距離がありますので、そこに関しては、大泊以上には問題ないのかなと思っております。また、曇月に関しては、自主防災組織というか、地区の方が率先して海峡の家のほうに避難誘導等を行っています。

二つ目に浜名地区の会館に関しては、今回の水害に関してですが垂直避難というのを推奨しました。1階ではなく2階のほうに避難するというのもかなりの避難効果がありますので、そちらで

対応できたと思っております。また、避難場所といたしましては、てんしよう苑、またスキー場もありますので、そこに関して、危険と感じたら、避難指示を待つよりも自ら地区のほうで自主的に高台に避難するとか、ぜひ心がけていただければと思っております。

① これからの段取り・方向性について
② ナマコ養殖について

【回答】 **【産業建設課長】**

当町では現在、竜飛今別漁協が実施するナマコ人工種苗生産事業及び種苗放流事業に対して資源の拡大を図るため、補助金を交付しております。また、ナマコ資源拡大検討委員会において、ナマコ種苗生産施設についても検討を重ねているところであります。

今後については、令和3年度より実施している種苗放流による個体数増加の効果を確認し、その結果を基に放流事業及び生産施設整備などについて

引き続き検討委員会をはじめ、関係機関と協議を進めていきたいと考えています。

【再質問】 **小倉潤二議員**

当町では、これまで捕る漁業を主体にやってきましたが近年ナマコ放流事業に力を入れております。しかし、まだ結果と成果は出ていないのが実情です。漁業従事者の高齢化と後継者不足や資源の減少などの影響を受けて大変厳しい状況に置かれております。今、養殖を中心とした水産業に注目が集まっています。その中でも注目されるのが陸上養殖です。漁業権を有しないというのが最大のメリットです。それと生けすに入れて管理しますので作業がしやすく、陸上のため時間的にも管理がしやすい。少人数でできる。昨日、常任委員会の報告でもありました

が、南三陸町の株式会社ケーエスフーズというところを視察してきました。この事業にかかる資本

金が1億円程度。この1億円を9割の、「農林水産業みらい基金」という9割の補助金を使ってやっております。水槽を並べて、その中で卵からふ化させてやっているので、すごく今別には向いてくる養殖だなと感じてきました。この9割の補助金でもし承認されたら、町として支援や協力体制は取れるのかお聞きします。

【回答】 **【産業建設課長】**

みらい基金に対して申請を上げることにはなると思います。その前に経営主体を町がメインでやるのか、それとも漁協もしくは協力企業、そちらが主体になるのかどうかを検討しなければいけないと思います。どちらで基金に対して申請を行うかというのもこれから検討が必要なことです。

【再質問】 **小倉潤二議員**

以前、サーモンの養殖の場合、阿部町長が我々に協力体制を要請したと思いますが、このナマコ

養殖に対しても町長は同じ考えでよろしいですか。

【回答】【町長】

サーモンの養殖事業は、オカムラ食品が主体となつて今別町に申請して、沖海での生けすです。サーモンを養殖したいということで、事業展開がうまくいっているデンマークを参考に、今別町でやるうということ、賛同し、オカムラ食品の社長からも説明を受けて、元の町立体育館の場所も提供して、事業展開も、うまくいっております。ナマコの養殖は前から細かい予算を出しながら漁協に水槽を購入し、親ナマコから稚ナマコの繁殖、放流もやつたのですが、なかなかうまくいかない。しかし、ナマコの資源拡大検討委員会というのがあります。この検討委員会の意見も大事にしなから推進していきたいと思つていきますし、放流に対してもこれからまだ続けていかなきゃならないということ、新年度予算

でまた検討してまいります。

3. 津軽線存廃について

①津軽線に関する住民アンケートの結果はいつ公表するのか。

【回答】【総務企画課長】

当該アンケート結果については現在集計し、町民に分かりやすく公表するためにグラフ化するなどの作業中であります。1月の広報紙で公表を予定しております。

【再質問】 小倉潤二議員

真意を聞くために行ったアンケートだと思いますが、地区名、性別を書き込んだアンケートになっていきます。人数が少ないために名前が分かってしまうので、このアンケートは町民の真意ではないと思えます。この地域名、性別とか書き込ませたのはどういった理由からでしょうか。

【回答】【町長】

手持ち資料として得たものとして、地区と、それから性別を記入することにさせていただきま

した。

【再質問】 小倉潤二議員

このアンケートを取ってから大分時間が過ぎています。時間が過ぎたことによつて、町民の考えも気持ちも変わってきていると思えますが、もう一度アンケートを取るといった考えはありますか。

【回答】【町長】

アンケートというのはこの間のアンケートで最後だと思つていますし、今日の本議会の後に議員の皆さんと一緒にこのデータを見ていただいて、それから1月に広報に載せるという形を取らせていただきます。

②JRは、バスの転換が望ましいと明言しているが、鉄路にこだわる理由をいま一度確認したい。

【回答】【町長】

町のスタンスとしては、災害前の津軽線への復旧をJRに要望していくと説明してまいりました。

この津軽線は、蟹田・三厩間だけでなく青森から三厩駅までが津軽線

であります。強いては青森県内のローカル線ですので、県知事がリーダーとなり沿線自治体と一緒に協力を進めていただくことが最も必要であると考えております。

【再質問】 小倉潤二議員

JRを納得させるための材料、今の新聞報道とかを見てもそういう材料が何も出てこない。

外ヶ浜町はある程度バス転換で理解を示しています。足並みがそろってない。両町が同じ考えを持ってJRに理解を求めなきゃいけないと思うのですが、その辺いかがでしょうか。

【回答】【町長】

鉄路にこだわるのは、自動車交通だと、小国峠の道路の問題があり、また鉄路を求めている今別町の人たち、さらに、三厩地区の人たちなど利用している人がいる限りは、沿線の地元の町長として鉄道維持を頑張っていく必要はない。

全国知事会では、国に

対し災害を期に、自治体の意向を充分に尊重することなく、鉄道事業者側の一方的事情により安易に存廃や再構築の議論を行わないよう、さらに、鉄道事業者が速やかに復旧に着手するよう、国の指導を要望しています。

そういう中で、知事を先頭にしながらいろいろ議論し、話し合いを詰める方向が一番いいのかと、少しまだ時間がかかると思うのですが、行司役として知事が先頭になってくれる約束をしましたので、その辺で詰めていきたいと思つていきます。

【再質問】 小倉潤二議員

バス転換になった場合、14号線は危険な道路なので、鉄路と一緒に道路整備も国に強く要望します。

【回答】【町長】

峠の道路については、進捗しております。県でも、宮下知事も同じ考えで平たん道路ということ、今動き出しました。ただ、最終完成となれば10

年ぐらいかかるといいう試算が出ております。

本間 闘士 議員



1. 買い物難民支援について

① 買い物難民支援へのその後の取組は?

【回答】【総務企画課長】

国や自治体において、どのような方を買い物難民と位置づけるかについては、統一的な基準がなく、日常の買物に不便を感じるか否かは、その方の健康状態や交通機関の利便性などの生活環境、さらには家族構成等が関係してくることから、買い物難民の実態を正確に把握することは非常に困難であると考えております。

また、短期的な対策では解消されるものではなく、長期的な視点から持続的な取組が必要と考えられるため、まずは今別町における取組課題の整理に努めなければなりません。買い物難民対策を考える上では、高齢者福祉、地域産業、交通確保、地域活性化など様々な方面から総合的に検討を行う必要があります。また、地域や民間業者の協力も不可欠であると考えています。

先日、超高齢化地域・過疎地域における買物弱者対策について、全県的な施策・重要な施策として県知事に対し支援を要望したところです。

【再質問】 本間闘士議員

改めて65歳以上の方を中心としたアンケート調査の実施を行い、地域の実情等を把握することを提案したいと思いますがいかがでしょうか。

【回答】【総務企画課長】

先般、介護予防日常生活圏域ニーズ調査の中で65歳以上を対象の項目の

中に買物環境をよくするため必要だと思うものは何ですかという項目があります。そういったところで、一応アンケートというところで調査しているところですが、ただ、その調査結果についてまだちよつとまとまっておりませんので、その結果を見て、検証、分析して今後の対策に努めます。

2. 移住定住促進について

① 当町へ移住定住の促進は進んでいるのか?

【回答】【総務企画課長】

受入れ体制の整備では、町営住宅の整備や空き家の利活用について整備しているところです。また、移住後の働き方への支援として、リモートワーク活動支援や新しい働き方支援、子育て支援として18歳までの医療費の無料や保育料、学校給食費の無償化、出産祝金や高校までの入学祝金、今年度からは小・中学校の修学旅行費も支援するなど、手厚く各種支援を実施し

ているところです。これまでの移住者は令和元年度から7組12人の実績があり、当町における移住定住の促進は図られていると認識しているところです。

② 大川平のお試し住宅の使用実績は?

【回答】【総務企画課長】

これまでの実績については、令和3年度は地域おこし協力隊が同施設を利用し、令和4年度が4件、今年度は現時点で3件であります。同施設については青森県移住・交流ポータルサイトで紹介しており、移住に関する相談件数も増えてきておりますので、今後、利用件数は増えていくものと思われま

【再質問】 本間闘士議員

お話しした住宅を使用した方からの意見や感想などを参考にすれば、課題点や、よい点などをあぶり出すことができるのではないかと思います。これまで参考にして反映させたことはあるのか伺いま

【回答】【総務企画課長】

今回の実績の中での使用実績については、他の事業とも抱き合わせとかそういった形での実績も含まれております。お試し住宅単体でのお申込みというのはなかなか厳しいのかなと思っております。いかに目玉となる、そういった引き寄せるものとかそういったことに関しては、今後、町としても検討していかなくてはならないのかなと思っております。

【再質問】 本間闘士議員

他の自治体では体験型のツアーなども開催しております。当町でもそういうツアーリズム型の体験も導入しているかと思っておりますが、そこを確認させていただきます。

【回答】【総務企画課長】

当町単独ではないのですが、青森県域の事業でキャンプアンドワーケーションとかを実施しております。住宅のみならず今別町で活用できそう

な施設があれば、活用していきたいなど考えているところではあります。

③今年が荒馬まつりが行われたが関係人口の増加は見られたのか。

【総務企画課長】

「関係人口」は、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々のことを言います。関係人口の増加については、今後、荒馬まつりを通じて町と関わりを持つ人のことですので、現状、増加したかどうかは確認できておりません。

現在、町では荒馬以外の関係人口創出に向け、地域プロジェクトマネージャーを中心に県と連携し複数のプロジェクトを実施しております。

④地域おこし協力隊の今後の見通しは？

【総務企画課長】

当町においては、これまで1人の地域おこし協力隊を受け入れております。今年も募集しません。

でしたが、来年度に向け、現在、『活動提案型の協力隊』と『担い手不足への対策』として委託型の協力隊の募集を検討しているところではあります。

今後、事業主と協議し、受入れ準備が整い次第、募集してまいります。

【再質問 本間闘士議員】

活動提案型というのはどのような活動形態になりますか。

【総務企画課長】

特にこちらからテーマを持って募集するわけではなく、フリーな感じで提案していただいて受け入れる形になっていきます。委託型というのはどういう活動内容になりますか。

【総務企画課長】

担い手不足とか、高齢化による人手不足、継承の部分になります。そういうところでは協力をかけます。事業主等と検討、協議して、受入れが本当に必要なのかとか、

そういった形で意見が合えば、ぜひ町として募集をかけたかと思っております。

【再質問 本間闘士議員】

この地域おこし協力隊なのですが、自治体の規模に関係なく採用できるものなのでしょうか。

【総務企画課長】

特に制限ございません。もっと厳密に言えば、こちらの特別交付税というもので財源措置されますので、町としては特段、特に大きい持ち出しがないので何人来てでもいいんですけれども、先ほど本間議員からありました一次産業に関してなんですけれども、以前募集したことあります、ただ来なかつたです。

町側から来てほしいというよりも、やはり事業主とか事業をされている方からやはり人手が欲しいとかというので、ぜひ町に相談いただければ町としてはこういった制度があることを紹介し、これをぜひ活用していただ

きたいと思っております。

⑤移住定住対策としての移住環境の設備が必要と考えるが当町の考えは？

【総務企画課長】

現在、町では、町営住宅の建て替え、新築及び部屋の改修を計画的に実施しているところです。

また、今別町空き家・空き地バンク制度や空き家・空

舗等対策事業を実施しているところではあります。

今年度は平成27年度以来、8年ぶりに全町の空き家実態調査を行い、実際の管理状況の把握や空き家戸数が整理され、これまで以上に空き家バンクへの登録や利活用の促進が見込まれるところであります。

【再質問 本間闘士議員】

空き家バンクに登録するには一定の要件を満たす必要があったと認識しております。

移住者向けの住宅として町が空き家の整理をしているということですが、空き家を改修して、要は

整備して貸出しするということでは可能なのか伺いたい。

【総務企画課長】

可能だと思います。ただ町としては空き家を買って、そこをリノベーションして貸出しするということ、現在そういう計画はございません。

⑥県外等でのPR活動について伺う

【総務企画課長】

今年度は、都内で開催された移住フェアや移住相談会などへ参加し、町をPRするプレゼンテーションをしてきたところではあります。年明けも移住フェアがありますのでこちらに参加を予定しており、年々、そういったフェアや相談会で相談件数も増えてきているところであります。

⑦担当職員の現地視察や研修も必要と感じるが当町の考えを伺いたい。

【総務企画課長】

移住定住に必要な不可欠な地域づくりに対し、先進的に取り組んでいる自治体等への視察は実施し

できております。また先日、今別町に近い人口規模で高齢化率の高さなど、もろもろ類似している自治体が実施したフィールドワークにも参加したところですが、今後も町に有益な研修や視察には参加してまいります。逆に今別町でもこういったフィールドワーク等を実施し、今別町に来ていただいた参加者から今別町の弱み強みに対する意見や提案を聞くこともとても大事なことでないかと思っております。

議員の皆様は地域の先進地を訪問した報告がありました。ぜひこういった情報も共有し今別町の移住定住の促進を図ってまいります。

3. 物価高騰対策に対する支援について

① 町として物価高騰対策支援が必要と考えるが町の考えを伺う。

【回答】総務企画課長

コロナ禍を乗り越えた町民の皆様は、今度は物価高に直面しており、町

としても最重要課題として対策に取り組んでいるところであり、物価高騰対策については、昨年度も支援事業を実施し、今年度については10月議会臨時会において水道料金の減免など、また福祉灯油など予算をご決いただき、現在の事業の実施に向け準備しているところです。

今後とも国・県の動向を注視し、必要に応じて支援事業を実施してまいります。

【再質問】本間闘士議員

物価高騰対策に関しては、非常に家計が厳しいという声が町民の方から多く聞かれております。このたび、支援内容として決定した経緯としてどのように決まったか教えていただきたいと思っております。

【回答】総務企画課長

支援方法として、水道減免、燃料の部分では灯油、また一次産業に対しては燃料とかそういったものに対しての支援をし

たところですが。

支援対策についても国・県から示されると思いますが、そこでまた新たな支援対策について町としても検討していきたいと思っております。

【再質問】本間闘士議員

購入型の商品券ですと1万円分購入して5,000円分の得をすれば、このような形ですが、この1万円が捻出できない高齢者の方もいらっしゃるというお話が聞こえております。そういった実情を踏まえ、次回、商品券事業等をやる場合は配慮していただきたいなと思うのですが、そこについて当町の考えをお伺いします。

【回答】町長

商工会の事業の中で商店街の皆さんも元気になるようにということをやっていますので、これから町ではストリートに購入型でなくて配布型というのでもできれば、財源の許す限りで国の補助金とかつけながらやってい

きたいと思っております。

4. 指定管理者について
① 青函トンネル広場に指定管理者を置くべきと思うが町長の考えを伺う。

【回答】町長

青函トンネル広場の清掃及び草刈りについては、会計年度任用職員が現在対応しております。側溝の詰まりなどが発生した場合には、役場の産業建設課職員が対応しております。現時点では現行のままの管理体制の維持で考えておりますので、指定管理者制度の適用は今のところ考えておりません。



田中 哲也 議員



1. 職員の人数について
① 現在の職員数は適切であるのか伺いたい。

【回答】総務企画課長

第5次今別町定員適正化計画では、令和5年度の職員数を63人としており現状は60人です。今後の事務遂行上、必要最小限とする職員数を踏まえ、計画では令和9年4月1日の職員数を54人とする数値目標を設定している当町においては適正であると認識しているところです。

今後も定年退職者と再任用職員、年齢構成のバランスを考慮しながら新規採用するなど、定員管理の適正化に努めてまいります。

【令和5年 第488回 今別町議会定例会採決結果】

提案された条例改正7件、補正予算6件、人事案件1件が原案通り可決・同意されました。

議案番号	提出議案	採決
議案第1号	今別町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第2号	今別町特別職の職員の給与条例の一部を改正する条例について	可決
議案第3号	今別町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第4号	今別町選挙公報の発行に関する条例の制定について	可決
議案第5号	今別町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決
議案第6号	今別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案第7号	今別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決
議案第8号	令和5年度今別町一般会計補正予算(第8号)	可決
議案第9号	令和5年度今別町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)	可決
議案第10号	令和5年度今別町国民健康保険特別会計(診療施設勘定)補正予算(第4号)	可決
議案第11号	令和5年度今別町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第12号	令和5年度今別町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)	可決
議案第13号	令和5年度今別町地区簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)	可決
議案第14号	今別町監査委員選任について	同意

【今別町監査委員に選任】相内啓司氏

【今別町固定資産評価審査委員に選任】
 五十嵐康彦氏
 唐山川佳邦氏
 山田一藏氏

◆議案第4号
 今別町固定資産評価審査委員会委員の選任について
 【同意】

◆議案第3号
 今別町固定資産評価審査委員会委員の選任について
 【同意】

◆議案第2号
 今別町固定資産評価審査委員会委員の選任について
 【同意】

◆議案第1号
 令和5年度今別町一般会計補正予算(第9号)
 【可決】

提案された議案1件、人事案件3件は、可決・同意されました。

令和5年
 第489回臨時会
 審議結果
 12月15日

再質問 田中哲也議員
 我が町でもこれから人口減少が進んで行きます。令和9年には54人の計画とありますが、今後の対策としてどのように考えているのかも伺いたい。
回答【総務企画課長】
 答弁では54名というところで答弁させていただきました。

今後については、その人数よりも、とにかく行政サービスを低下させないように努めてまいります。
再質問 田中哲也議員
 町民が不安にならないような行政サービスができる人材確保をお願いします。来年度策定する町総合

計画や、まち・ひと・しごと創生計画、先を見据えた取組とありましたが、今別町の魅力を発揮し今別町で働きたいと思えるようなまちづくりをお願いします。
回答【総務企画課長】
 来年度、町総合計画、町の上位計画になります。が、そちらを策定します。

これまでの10年間、第5次総合計画をやってきたところなのですが、議員の力添えをいただきながら事業の実績を職員みんなで分析、検証して次につなげるような計画にしてまいりたいと思っております。

合同視察研修報告 (地域おこし活動)

総務文教常任委員会 (10月16日)

総務文教常任委員長 成田 精市 議員

地域おこし協力隊の活動状況と仙台秋保醸造所の視察研修

秋保温泉のある秋保町は、震災当時飲食店や観光施設がほとんどなく、発展途上の街でした。そこに、代表：千葉氏がアキウツーリズムファクトリーという会社を立ち上げ、築160年の古民家を改装しレストラン（アキウ舎）を始めます。しだいに観光客も増え、カフェや飲食店が続々とオープンし、現在は40店舗以上の飲食店が秋保の街を盛り上げています。またアキウ舎には、地域おこし協力隊員2名が常駐し、地域の情報発信やイベントのサポート並びに農業観光の振興を主軸とした取り組みがおこなわれており、今回の視察研修の窓口となり対応してくれました。

震災前、宮城県に1軒しかなかったワイナリーが津波により甚大な被害を受けましたが、奇跡的に残った3本のぶどうの樹をもとに代表：毛利氏がワイナリーを立ち上げました。もともと設計事務所に勤めていた毛利氏は、一からワイン造りを学び醸造するまでになりました。しかし、ここまでの道程は苦難の連続であったと聞いております。さらに毛利氏は、ワイン造りで担い手を育成し地域振興にも取り組んでおり、異業種との連携や研修生の受入れなど幅広い活動が評価されています。



産業建設常任委員会 (10月17日)

産業建設常任委員長 小倉 潤二 議員

ウニ・ナマコ陸上養殖の視察研修報告

震災により大きな被害を受けた南三陸町は、被災後人口の減少・労働者不足・住民の高齢化による地域産業の衰退が課題でありました。加えて、キタムラサキウニの異常繁殖により「磯焼け」が深刻化したため、同町の(株)ケーエスフーズは、「農林水産業みらい基金」を活用し約1億円をかけ、陸上でのウニとナマコの養殖を始めました。どちらも3年から4年で出荷できる程度に成長させたのち出荷されます。餌にするのは、同社が加工食品を製造する過程で残るワカメや昆布、その他キャベツなど。同じ水槽の上の方ではウニを、底ではウニの糞も餌にしてナマコを養殖します。しかし昨年大雨で、屋外の養殖施設の塩分濃度が低下し、約8割のウニを死滅させてしまいました。さらに今年は、夏の異常高温により海水温度が上昇し、これまた約8割のウニを死滅させてしまいました。同社はこれにめげず、試行錯誤しながら陸上養殖でウニを出荷するという強い意志の下、日夜努力している状況を見てきました。



ちなみに「農林水産業みらい基金」は、今別の海でサーモンの海上養殖を手がけるオカムラ食品も活用している補助金制度です。

議会の動き 5年10月1日～5年12月28日

10月

5日 議長・副議長視察研修 〓6日
 議会広報会議
 行政視察(常任委員会) 〓18日
 例月出納検査
 正副議長・事務局長研修会
 第487回 臨時議会運営委員会・臨時議会

11月

1日 東津軽郡町村議会議長会役員・事務局長会議
 2日 第2青函トンネル構想実現を目指す 特別講演会
 6日 六ヶ所原子燃料サイクル施設見学会
 15日 知事を囲む行政懇談会
 15日 東津軽郡町村議会議長会役員・事務局長会議
 17日 令和5年度監査委員協議会研修会
 20日 例月出納検査
 26日 東津軽郡町村議会議長会県外視察研修 〓29日まで
 26日 ラブ・いまべつ会横浜交流会
 28日 第488回 議会運営委員会
 30日 第488回 12月議会定例会 〓12月4日までの5日間

12月

4日 現地視察(建設中の給食センター)
 15日 第489回 臨時議会運営委員会・臨時議会
 15日 東津軽郡町村議会事務局職員研修会
 20日 例月出納検査
 27日 令和5年第3回青森地域広域事務組合臨時会



11/17 監査委員協議研修会



11/6 六ヶ所原子燃料サイクル施設見学会

議会を傍聴しませんか

町の働きを知る良い機会です。多くの方が町政に関心を持ち、議会を傍聴することが議会活性化の一つです。

傍聴人は先着20名となっております。

※傍聴される方へお願い

本会議中の録音、写真撮影は今別町議会傍聴人規則第9条により禁止されています。ご協力の程よろしくお願ひします。

(詳しくは議会事務局まで) 電話 0174-35-2001

編集後記

この一年を振り返ってみると、コロナからインフルエンザといろいろあり、大変な一年でした。世界情勢を見ると、地球上の争いは絶え間なく続き、目を覆いたくなる思いであります。

人間が人間を殺戮することは、いかなる理由があっても絶対にあってはなりません。それが今、日常茶飯事のようにニュースに報道されています。どうしたら平和な地球を作ることができるのか、世界中の識者たちに聞きたい。

暖冬とはいようなものの時期が来るとやはり、厳寒となる。庭の梅の木は、この寒さのなか既につぼみが膨らみ春の訪れを待っている。厳しい世相ではあるが、必ずくる春を期待して頑張ろう。

議会広報副委員長 福士和比古

議会広報委員会

- 委員長…本間 闘士
- 副委員長…福士和比古
- 委員…小倉 潤二